

農業食料工学会誌 英文投稿細則

(昭和 57 年 4 月 制 定)	(平成 6 年 1 月 改 正)	(平成 19 年 1 月 改 正)
(昭和 59 年 1 月 改 正)	(平成 9 年 1 月 改 正)	(平成 21 年 1 月 改 正)
(昭和 59 年 6 月 改 正)	(平成 10 年 1 月 改 正)	(平成 23 年 4 月 改 正)
(昭和 59 年 9 月 改 正)	(平成 12 年 6 月 改 正)	(平成 25 年 6 月 改 正)
(昭和 62 年 4 月 改 正)	(平成 12 年 11 月 改 正)	(平成 26 年 12 月 改 正)
(昭和 63 年 11 月 改 正)	(平成 13 年 9・11 月 改 正)	(平成 31 年 2 月 改 正)
(平成 2 年 11 月 改 正)	(平成 15 年 12 月 改 正)	(2020 年 2 月 改 正)
(平成 5 年 1 月 改 正)	(平成 18 年 4 月 改 正)	部 2020 年 2 月改正部分

農業食料工学会誌投稿規程第 17 条第 1 項の規定により、英文投稿細則を次のとおり定める。

I 一般事項

1. 原稿の書式

- (1) 原稿は、文書作成ソフトウェア(Microsoft Word 等)によるものとする。用紙は A4 判縦置きとし、65 字×25 行を 1 枚とする。マージンは上下左右各 3 cm、文字の大きさは 12 ポイントとする。また、原稿下欄外中央に頁番号、原稿左欄外に通し行番号を挿入するものとする。
- (2) 和文要旨等については、原則として、文書作成ソフトウェアによるもの(25 字×25 行)とする。
- (3) 学会誌 1 ページとは、9 ポイント活字約 100 字×54 行(計約 5,400 字)を意味し、原稿 3.2 枚でおおむね 1 ページとなる。図・写真は 1 単位(製版仕上りで 64 cm², 8×8 cm)が 0.2 ページに相当する。

2. 原稿の内容

- (1) 著者の責任において、科学論文としてふさわしいように、英文を添削してから投稿する。
- (2) 和文投稿細則 I の 2. の(2)に準ずる。

II 原稿の整理

1. 標題, 著者名, 要旨

和文投稿細則 II の 1. に準ずる。

2. キーワード

- (1) 和文投稿細則 II の 2. の(1)に準ずる。
- (2) 和文投稿細則 II の 2. の(2)に準ずる。
- (3) 和文投稿細則 II の 2. の(3)に準ずる。
- (4) 速報, レビュー, 資料の原稿では、英文著者名の次行に、[Keywords] と見出しを書き、その後続けて英語のキーワードをコマで区切り列挙する。さらに、和文著者名の次行に、[キーワード] と見出しを書き、それらに対応する日本語のキーワードをコマで区切り列挙する。
- (5) 和文投稿細則 II の 2. の(5)に準ずる。

[例 1 (研究論文, 技術論文の例)]

Research Paper (または Technical Paper)

Automatic Control of Agricultural Tractor (Part 1) *
— Travelling Speed Control by Detecting Engine Load —

Taro NOKI *^{1†}, Jiro INAHO *²

Abstract

〇〇〇〇 (120 語以内)

[Keywords] engine torque, Laplace transform, 〇〇, . . .
(5~10 語)

≪References の次ページに記載する≫

研究論文 (または技術論文)

農用トラクタの自動制御 (第 1 報) *

— エンジン負荷検出による走行速度制御 —

農機太郎 *^{1†}・稲穂次郎 *²

要 旨

〇〇〇〇 (300 字以内)

[キーワード] 機関トルク, ラプラス変換, 〇〇, . . .
(5~10 語)

[例 2 (速報, レビュー, 資料の例)]

Short Report (または Review Paper, Material)

Automatic Control of Agricultural Tractor *

— Travelling Speed Control by Detecting Engine Load —

Taro NOKI *^{1†}, Jiro INAHO *²

[Keywords] engine torque, Laplace transform, 〇〇, . . .
(5~10 語)

≪References の次ページに記載する≫

速報 (またはレビュー, 資料)

農用トラクタの自動制御 *

— エンジン負荷検出による走行速度制御 —

農機太郎 *^{1†}・稲穂次郎 *²

[キーワード] 機関トルク, ラプラス変換, 〇〇, . . .
(5~10 語)

3. 発表実績, 会員の資格の有無, 著者の所属

- (1) 投稿前、既に当学会の講演会等で発表した研究は、その発表年月、講演会名及び開催地を、当学会誌に速報、解説、資料、テクノトピックス、または特集とし

て掲載された研究は、掲載誌巻号と掲載年を、
〔Keywords〕の次行に引いた罫線の次行から英文で
それぞれ記載し、〔キーワード〕の次行に引いた罫線
の次行から和文でそれぞれ記載する。その際には、標
題（主題）の右肩に*印を付ける。

〔例1（講演会で発表した場合）〕

≪〔Keywords〕の次行に引いた罫線の次行に記載する≫

* Presented at the 72nd Annual Meeting of the Japanese Society
of Agricultural Machinery and Food Engineers (Obihiro), Sep.
2013

≪〔キーワード〕の次行に引いた罫線の次行に記載する≫

* 2013年9月第72回農業食料工学会年次大会（帯広）に
て講演

〔例2（速報として掲載された場合）〕

≪〔Keywords〕の次行に引いた罫線の次行に記載する≫

* Published as a Short Report in the Journal of the Japanese
Society of Agricultural Machinery and Food Engineers, 76(1),
2014

≪〔キーワード〕の次行に引いた罫線の次行に記載する≫

* 農業食料工学会誌第76巻1号（2014）に速報として掲
載

(2) 著者が投稿時に会員である場合は、会員である旨を
記載した後、著者の所属（当該研究を主として行った
ところとする）及びその住所を、〔Keywords〕及び
〔キーワード〕の次行にそれぞれ引いた罫線の次行
（発表実績のない場合）または発表実績の次行から、
〔Keywords〕においては英文で、〔キーワード〕にお
いては和文でそれぞれ記載する。その際には、著者名
の右肩に*1, *2, *3 …の印を付ける。著者の中から
Corresponding author（コレスポンディング・オーサー：
責任著者）をひとり選び、著者の右肩に付けた数字の
後に†を付け、以下の記載例に従い、メールアドレス
を記す。

〔例1（単著で異動のない場合）〕

≪〔Keywords〕の次行に引いた罫線の次行に記載する≫

*1 Member, Faculty of Agriculture, Noki University, 6-10-1,
Minami-cho, Higashi-ku, Hokuto-shi, Saitama 123-4321,
Japan

† Corresponding author: noki_taro@jsam.jp

≪〔キーワード〕の次行に引いた罫線の次行に記載する≫

*1 会員，農機大学農学部（〒123-4321 埼玉県北都市東区
南町 6-10-1）

† Corresponding author: noki_taro@jsam.jp

〔例2（共著で異動のない場合）〕

≪〔Keywords〕の次行に引いた罫線の次行に記載する≫

*1 Member, Faculty of Agriculture, Noki University, 6-10-1,
Minami-cho, Higashi-ku, Hokuto-shi, Saitama 123-4321,
Japan

*2 Touto Agricultural Experiment Station, 1-2, Maminami,
Nishihata-cho, Touto-gun, Hyogo 831-6521, Japan

*3 Member, Faculty of Agriculture, Nanto University, 1-2-1,
Kita-machi, Nanto-shi, Hyogo 321-1234, Japan

† Corresponding author: noki_taro@jsam.jp

≪〔キーワード〕の次行に引いた罫線の次行に記載する≫

*1 会員，農機大学農学部（〒123-4321 埼玉県北都市東区
南町 6-10-1）

*2 東都農業試験場（〒831-6521 兵庫県東都郡西端町真南
1-2）

*3 会員，南都大学農学部（〒321-1234 兵庫県南都市北町
1-2-1）

† Corresponding author: noki_taro@jsam.jp

(3) 投稿時に当該研究を主として行ったところから他の
機関に異動しているときは、その後に「Present address:
XYZ University」のように記載する。このとき、筆頭
著者及び責任著者のみ、異動後の機関名に続いてその
住所を和英両語で記載する。

〔例1（筆頭著者または責任著者に異動があった場合）〕

≪〔Keywords〕の次行に引いた罫線の次行に記載する≫

*1 Member, Touto Agricultural Experiment Station, 1-2,
Maminami, Nishihata-cho, Touto-gun, Hyogo 831-6521,
Japan; Present address: Faculty of Agriculture, Noki
University, 6-10-1, Minami-cho, Higashi-ku, Hokuto-shi,
Saitama 123-4321, Japan

*2 Member, Touto Agricultural Experiment Station

† Corresponding author: noki_taro@jsam.jp

≪〔キーワード〕の次行に引いた罫線の次行に記載する≫

*1 会員，東都農業試験場（〒831-6521 兵庫県東都郡西端
町真南 1-2），現在：農機大学農学部（〒123-4321 埼
玉県北都市東区南町 6-10-1）

*2 会員，東都農業試験場

† Corresponding author: noki_taro@jsam.jp

〔例2（筆頭著者及び責任著者以外に異動があった場合）〕

≪〔Keywords〕の次行に引いた罫線の次行に記載する≫

*1 Member, Touto Agricultural Experiment Station, 1-2,
Maminami, Nishihata-cho, Touto-gun, Hyogo 831-6521,
Japan

*2 Member, Touto Agricultural Experiment Station; Present
address: Faculty of Agriculture, Nanto University

† Corresponding author: noki_taro@jsam.jp

≪ [キーワード] の次行に引いた罫線の次行に記載する ≫

*1 会員, 東都農業試験場 (〒831-6512 兵庫県東都郡西端町真南 1-2)

*2 会員, 同上, 現在: 南都大学農学部

† Corresponding author: noki_taro@jsam.jp

4. 著者の略歴

和文投稿細則Ⅱの4. に準ずる。ただし, 語数は40語以内とする。

5. 見出し

(1) 和文投稿細則Ⅱの5. に準ずる。

(2) 先頭のみ大文字 (例: Introduction, Material and methods) とする。

6. 数式及び記号

和文投稿細則Ⅱの6. に準ずる。

7. 単位

和文投稿細則Ⅱの7. に準ずる。

8. 引用文献

(1) 和文投稿細則Ⅱの8. の(1)に準ずる。

[例1 (英文論文中での引用例)]

An automatic control system has been already reported (Noki, 1975). Inaho and Noki (1978) also have reported an automatic control system for farm implements.

(2) 和文投稿細則Ⅱの8. の(2)に準ずる。

(3) 和文投稿細則Ⅱの8. の(3)に準ずる。

(4) 和文投稿細則Ⅱの8. の(4)に準ずる。

(5) 和文投稿細則Ⅱの8. の(5)に準ずる。

(6) 英語以外の文献をリストに記載する場合は, 英訳された論題をつける。文献に英訳が無い場合は, 著者の責任において論題を英文で翻訳表現し, さらに括弧書きで原語論題を記載する。原語がアルファベットを用いる場合は原語論題をそのまま記載し, アルファベットを用いない場合はローマ字に翻字する。その後に (in Japanese), (in German) 等を付記する。

[例1 (和文雑誌の記載例)]

Noki, T., Inaho, J., 2014. Performance of agricultural tractor (Nogyo Torakuta no Seino) (in Japanese). Nogyoshokuryokogakkai Kansaishibuho (Kansai Branch Report of the Japanese Society of Agricultural Machinery and Food Engineers), 66, 115-121.

[例2 (和文単行本の記載例)]

Noki, T., 1998. Design of Applicator (Kanriki no Sekkei) (in Japanese). Noki Co., Tokyo, 61-63.

[例3 (英語, 日本語以外の外国語文献の記載例)]

Vogel, S., Hofreither, M. F., Schneeberger, W., Weiß, F., 2004. Factors of farm enlargement plans in the Austrian Mountain Regions (Bestimmungsgründe von Flächenausweitungsplänen in der Berglandwirtschaft Österreichs) (in German). Die Bodenkultur, 55(2), 73-81.
Wang, M., Li, H., 2006. Strawberry Harvesting Robot (caomei caizhai jiqiren) (In Chinese). 2010. Nongji Co, Beijing, 102-106.

(7) 和文投稿細則Ⅱの8. の(7)に準ずる。

(8) 和文投稿細則Ⅱの8. の(8)に準ずる。

(9) 和文投稿細則Ⅱの8. の(9)に準ずる。

9. 図, 表, 写真

(1) 和文投稿細則Ⅱの9. の(1)に準ずる。

(2) 図表等の挿入箇所を本文原稿の右欄外に朱筆で指定する。

(3) 図表等のタイトル及びキャプションは各図表等に記載する。図表等の番号は, 図及び写真では「Fig. 1」, 表では「Table 1」とする。

[例1 (図タイトルの記載例)]

figure

Fig. 1 Schematic diagram of control system

[例2 (表タイトルの記載例)]

Table 1 List of measurements

table

(4) 和文投稿細則Ⅱの9. の(4)に準ずる。

(5) 和文投稿細則Ⅱの9. の(5)に準ずる。

(6) 和文投稿細則Ⅱの9. の(6)に準ずる。

(7) 和文投稿細則Ⅱの9. の(7)に準ずる。

(8) 和文投稿細則Ⅱの9. の(8)に準ずる。

(9) 和文投稿細則Ⅱの9. の(9)に準ずる。

10. 文字等の指定

和文投稿細則Ⅱの10. に準ずる。

11. その他

和文投稿細則Ⅱの11. に準ずる。

Ⅲ 原稿の送付

1. 投稿時に送付するもの

(a) 和文投稿細則Ⅲの1. の(a)に準ずる。

(b) 和文投稿細則Ⅲの1. の(b)に準ずる。

- (c) 和文投稿細則Ⅲの1. の(c)に準ずる。
- (d) 母語が英語以外の投稿者の原稿にあつては、英文の添削済証明書(ネイティブの学識経験者、または理科学系科学論文を扱う英文添削業者に依頼し、それと分かるサイン(所属/添削年月日を含む)及び論文タイトルと著者名が添えてあること)

2. 印刷時(掲載可となった後)に送付するもの

和文投稿細則Ⅲの2. に準ずる。

3. 送付先

和文投稿細則Ⅲの3. に準ずる。

附 則

1. この細則は2020年4月1日から施行する。
2. この細則の変更は編集委員会が行い、理事会の承認を得て学会誌に公示する。